議員は、定例会議を開催しない月にも文書で質問を行うことができます。
今号は令和８年７月に提出のあった質問内容の一部を掲載しています。
（全文はＱＲコードから読むことができます。）

文書質問



部活動の地域展開の疑問点を問う

我孫子（あびこ） 洋昌（ひろまさ） 議員

質問 協力依頼文書の発送、中学生対象の説明会の開催前に、受け皿となる社会教育関係団体等（以下「団体等」）に聞き取り調査や、意向調査・確認は行いましたか。

回答 意向調査・確認は行っていませんが、受け入れ可能な団体等とは、丁寧な説明と事前協議を行います。

質問 団体等が受け入れ困難な場合はどのように考えていますか。

回答 その場合は、町外の団体との協議や、講師を探し「ゆるスポ」で活動可能か、なるべく希望する活動ができるように調整していきたいと思います。

質問 すでに地域展開された剣道、スキー競技の部活動の経験を、他の部活動にも共有していきますか。

回答 現在、当該競技を少年団で活動する中学生は在籍しておらず、当分の間、教職員から協力を得て進めます。

質問 今次計画期間内でどのような対応をする予定ですか。

回答 令和９年度に部活動を地域移行することを優先します。それ以降は、児童生徒から高校生までを対象とした新たな取組を模索していきます。

子どもたちの「やりたい」を実現するために、既存団体、地域や近隣市町村の住民の協力が得られるよう、丁寧な説明や広報周知、事前協議等に努めます。



期末手当加算とは…
一定以上の役職（係長以上など）の職責に応じて支給されるものです。期末手当役職加算とも言います。

下川町議員のなり手不足対策特別委員会中間報告
17：10
中間報告
（動画時間）
26分

議員のなり手不足対策 これまでの取組

○なりて塾（全３回）の開催
- 議会・議員活動と下川町議会の現状報告
- 一般質問の傍聴
- 参加者との意見交換

○議会・議員の活動量調査
- 議会としての活動
⇒年間６５日（令和７年度）
- 議員としての活動
⇒活動内容は多岐にわたるため、標準化が難しい

○議員報酬、期末手当加算、政務活動費、常任委員会の検討
- 若い世代や専業で議員を目指したいと思える報酬額の必要性
- 議会改革やデジタル化により議会の業務量は増加
- 周辺町村議会との比較　など

下川町議会の現状とこれからについて検討を重ねる

議員報酬を引き上げることが妥当との結論に至る